

授業科目	母性看護学方法論 I	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2 年次前期	1 単位	講義	30 時間
到達目標	1. 妊娠・分娩・産褥・新生児の生理的な経過とその診断、検査について理解する 2. 娠・分娩・産褥・新生児期の異常とその原因、診断、治療を理解する					講師
						産婦人科医師
授業計画						
1 回	妊娠経過の理解 1) 妊娠の生理 2) 胎児の発育とその生理					
2 回	妊娠経過の理解 1) 妊娠とその診断 2) 妊娠期に行う検査とその目的 3) 胎児の発育と健康状態の診断					
3 回	分娩経過の理解 1) 分娩の 3 要素 2) 胎児と子宮および骨盤との関係 3) 分娩の機序					
4 回	分娩経過の理解 1) 分娩の進行と産婦の身体的変化 2) 分娩が胎児に及ぼす影響					
5 回	新生児の生理の理解 1) 新生児の生理 2) 新生児の機能					
6 回	産褥経過の理解：産褥期の身体的変化					
7 回	妊娠期の異常の理解：ハイリスク妊娠とは					
8 回	妊娠期の異常の理解：妊娠期の感染症					
9 回	妊娠期の異常の理解：妊娠疾患（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、血液型不適合妊娠）					
10 回	妊娠期の異常の理解 1) 妊娠持続期間の異常 2) 異所性妊娠					
11 回	分娩期の異常の理解 1) 産道の異常 2) 娩出力の異常 3) 胎児の異常による分娩障害 4) 胎児の付属物の異常					
12 回	分娩期の異常の理解 1) 胎児機能不全 2) 分娩時の損傷 3) 分娩第 3 期および分娩直後の異常 4) 分娩時異常出血					
13 回	分娩期の異常の理解：産科処置と産科手術					
14 回	産褥期の異常の理解：子宮復古不全、産褥熱、産褥血栓症、精神障害					
15 回	新生児期の異常の理解：新生児仮死、分娩外傷、早産児、低出生体重児、高ビリルビン血症					
評価方法	修了試験 選択肢問題又は論述問題による筆記試験（100%）					
教科書	系統看護学講座 専門分野 母性看護学②母性看護学各論 医学書院 母性看護学 周産期各論 医歯薬出版株式会社					
備考	予習においては教科書の該当ページを熟読する。復習においては、教科書、講義資料を用いて学習した内容を整理し、理解を深める。					